

Book Preview

富山高校図書館 2024.5



『 幸せな大人になれますか 』

野 隆司【著】

周りを見回して、幸せそうな大人はいるだろうか。いるなら、その人をよく観察してみよう。もしかしたら、お金持ちではないかもしれない。立派な肩書はないかもしれない。でも、自分を受け入れ、自分らしい楽しみを知り、きっと人に優しく生きているはずだ。やってみよう因子、ありがとう因子、なんとかなる因子、ありのままに因子。「幸せ」を構成する4つの因子。今日からできる8つのワークを細かく紹介！

『 中公新書ラクレ 見えないものを見る「抽象の目」 』

細谷 功【著】

私たちの生きる世界は、VUCAと言われる不確実で先の見えない時代に突入したと言われています。2020年初頭からコロナやウクライナ紛争など思いもよらない事態を招き、日常生活ではスマホの普及やGAFAMと呼ばれるプラットフォームの台頭等により、デジタルを中心とした「見えないもの」に支配されているのです。これまで、日本では「見えるもの」を作る技術を強みにしてきた企業も多く存在してきましたが、これからの時代を生き残るには、「見えないもの」をいかに見えるようにするかが鍵となります。本書では、著者が思考力を鍛えるために用いる「具体と抽象」のテーマに当てはめながら、この「見えないもの」を見えるようにするための考え方を提供します。



『 小学館新書 動的平衡 3 』

福岡 伸一【著】

『動的平衡』の生命論と『理想の組織』の共通点とは「フェルメールの絵画とストラディヴァリのヴァイオリン、この2つが持っているものとは何か」「親世代の記憶は子ども世代に遺伝するか」など、さまざまなトピックから、生命の不思議に誘うベストセラー第三弾を新書化。さらに、新型コロナウイルスについての新章を追加。組織論や芸術論にまで縦横無尽に話が展開する「福岡ハカセの生命理論」をぜひご堪能ください。

『 中公新書 経済社会の学び方 』

猪木 武徳【著】

私たちが暮らす経済社会—経済的な関係が深く染みこんだ社会とどうつき合うべきか。その仕組みを知り、そこで起こる問題解決のために必要なこととは。データの重要性和限界、理論の功罪、因果推論の効果と弱点から、人間心理を扱う難しさ、歴史に学ぶ意義と注意点、政治との距離感まで、経済社会について学ぶためのヒントに満ちた一冊。溢れる情報に「健全な懐疑の目」で接し、社会を少しでも良くしたい全ての人々へ。



『 風に立つ 』

柚月 裕子【著】

問題を起こし家裁に送られてきた少年を一定期間預かる制度—補導委託の引受を突然申し出た父・孝雄。南部鉄器の職人としては一目置いているが、仕事一筋で決して良い親とは言えなかった父の思いもよらない行動に戸惑う悟。納得いかぬまま迎え入れることになった少年と工房で共に働き、同じ屋根の下で暮らすうちに、悟の心にも少しずつ変化が訪れて……。家族だからこそ、届かない想いと語られない過去がある。岩手・盛岡を舞台に、揺れ動く心の機微を掬いとる、著者会心の新たな代表作！